2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	美容師科	学年	1	開講区分	後期	担当教員			
授業科目名						高橋由香			
関係法規・制度		必修選択	必修	授業形態	講義	時間数	30	授業回数	15

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

この科目では、美容師法や美容業に関連する様々な法規について学び、美容師として、開設者として遵守すべき法令や知識を学ぶ。
高等学校第1種免許（公民）取得。大学卒業後、一般企業に勤務。その後美容師養成施設で関係法規、運営管理、着付けの講師に従事。また着付け・組紐教室を開業し着付師の業務も行う経営者が授業を行う。

〔到達目標〕
美容師・経営者が遵守すべき法令を理解し、美容の業務を適正に行うことができるようになる。

〔使用教材、参考文献等〕	〔準備学習・時間外学習〕
関係法規・制度	

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1	本科目の説明 社会生活における法の役割・法の形式・衛生法規の概要・衛生法規の分類	法の種類と美容業関係の法令、仕組みが説明できるようになる。 衛生とは何か、衛生法規とは何かを説明できるようになる。
2	衛生行政の意義と歴史・衛生行政の分類・保健所の役割	保健所の役割、保健所を設置できる機関が説明できるようになる。
3	理容師法・美容師法の目的・用語の定義・美容師養成施設 （確認テスト1）	美容師法第1条（目的）を覚え、どのような目的があるのか説明できるようになる。 美容師法第2条（用語の定義）を覚え、その内容を説明できるようになる。
4	美容師試験・免許と登録・免許の欠格条件	美容師試験の受験資格や内容が説明できるようになる。 免許の申請手続きや欠格条件が説明できるようになる。
5	美容師の義務（衛生措置、美容師免許の変更・紛失などの手続き）	美容師の衛生義務が説明できるようになる。 免許の変更などの手続きが説明できるようになる。
6	業務停止・免許取消及び再免許・管理美容師 （確認テスト2）	美容師に対する行政処分を覚え、説明できるようになる。 管理美容師とは何かを説明できるようになる。
7	美容所を開設するための手続き、美容所の開設届、検査確認、重複開設、開設者の継承	美容所を開設するための手続きが説明できるようになる。 重複開設とは何かを説明できるようになる。
8	開設者の義務（衛生措置）、美容所以外での業務、立入検査と検査確認 （確認テスト3）	開設者の衛生措置（義務）や美容業と保健所の関係性が説明できるようになる。
9	免許取消処分・業務停止処分・美容所の閉鎖命令・30万円以下の罰金	行政処分と罰則を覚え、説明できるようになる。
10	（確認テスト4） 衛生に関する法律	美容業の衛生に関する法律名とその概要が説明できるようになる。
11	業の振興に関する法律	生衛法とその概要が説明できるようになる。
12	雇用に関する法律・消費者保護に関する法律	美容業の雇用と消費者保護に関する法律名とその概要が説明できるようになる。
13	消費者保護に関する法律 （確認テスト5）	美容業の消費者保護に関する法律名とその概要が説明できるようになる。
14	期末試験	期末試験で60点以上取る
15	期末試験の振り返り	国家試験のために何をすればよいか知る

〔特記事項・授業時間外における学習〕	〔成績評価の方法と基準〕
	●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 期末試験100点、(筆記試験)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	美容師科	学年	1	開講区分	後期	担当教員			
授業科目名						米山 乃生子			
衛生管理		必修選択	必修	授業形態	講義	時間数	30	授業回数	15

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

歯科医師免許取得後、9年以上しか委員での実務経験があり、また教育専門課程にて保健学、生物学などの講師歴20年以上の講師が保健学を教授します。

〔到達目標〕

美容室内で、お客様や身近な人(共にはたらくスタッフ)などを感染症から守れる。また、美容室から感染を拡大させることの無い美容師を目指して今期は「第3編：感染症」を学習していきます。

〔使用教材、参考文献等〕	〔準備学習・時間外学習〕
衛生管理の教科書	予習として教科書を音読する！読めなかった漢字や意味がわからない言葉などは事前に把握する！

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1	・美容師の法律上の位置付けと衛生管理(公衆衛生・環境衛生・感染症・消毒法)を学ぶ理由・1章1節1-2項P82～87	・美容師と衛生との関係を説明できる・疾病の歴史や感染症の発見の歴史を説明できる
2	・1章1節3-4項P88～93	・感染症と法律や感染症の分類について説明できる
3	・1章2節1-3項P94～97	・病原微生物とは、病原微生物の種類や形、大きさ、構造について説明できる
4	・1章2節4項P97～99	・微生物の増殖と環境の影響について説明できる
5	・1章3節1-2項P100-103	・微生物の病原性と人体の感受性や汚染、感染、発病について説明できる
6	・1章3節3-4項P104-106	・常在細菌叢や免疫と予防接種について説明できる
7	・1章3節5-6項P107-110	・感染症発生の要因について説明できる
8	・1章3節5-6項P111-114	・感染症予防の三原則について説明できる
9	・2章1節-2節1項①-⑤P115-122	・美容師業と感染症との関係、空気・飛沫を介して感染する感染症について説明できる
10	・2章2節1項⑥-⑩P122-127	・空気・飛沫を介して感染する感染症について説明できる
11	・2章2節2項P128-130・4項P135-137	・飲食物、動物・節足動物を介して感染する感染症について説明できる
12	・2章2節3項P130-135	・血液を介して感染する感染症について説明できる
13	・2章3節P138-142	・感染症の具体的な対策の例について説明できる
14	期末試験	・これまでに学んだことが身に付いているか試す！
15	期末試験解説	・間違っていたところやあいまいな部分をそのままにしないこと！

〔特記事項・授業時間外における学習〕	〔成績評価の方法と基準〕
	●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 筆記試験にて評価する。 期末試験100点、(マークシート用紙を使用)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	美容師科	学年	1	開講区分	後期	担当教員			
授業科目名						若原 真理恵			
保健		必修選択	必修	授業形態	講義	時間数	30	授業回数	15

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

看護師免許取得後、産婦人科領域の看護に5年間所属した後、特別養護老人ホームで15年間勤務、現在は、精神科デイケアと他校の美容科にて保健の講師に従事。
これまでの看護実務経験と、多様な現場で培った知識・経験をもとに、実践に役立ち、また国家試験に必要な基礎知識を学ぶ。

〔到達目標〕

人体の知識を学び、美容師国家試験(筆記)に必要なポイントを知ることができる

〔使用教材、参考文献等〕	〔準備学習・時間外学習〕
保健	

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1	第1章 頭部・顔部・頸部の体表解剖学	理美容の日常業務に必要な頭頸部の名称を知る
2	第2章 骨格器系	骨格器系の名称を知り、構造を説明できる
3	第3章 筋系	筋の各名称を知り、日常動作のどんな時に作用するかを説明することがきできる
4	第4章 神経系	中枢神経の役割を説明することができる
5	第4章 神経系	末梢神経の役割を説明することができる
6	第5章 感覚器系	眼や耳の構造を理解し、各名称の持つ役割を説明できる
7	中間試験	第1章～5章の問題を解くことができる
8	第6章 血液と免疫系	血液役割、各免疫の役割を説明することができる
9	第7章 循環器系	血液循環の仕組みを説明できる
10	第8章 呼吸器系	酸素がどのようにして循環しているかを説明することができる
11	第9章 消化器系	食物がどのようにして消化されるかを説明することができる
12	第1章～9章おさらい	第1章～9章のポイントをおさらいし、定期試験対策を行う
13	定期試験対策	第1章～9章のポイントをおさらいし、定期試験対策を行う
14	定期試験	学習した内容をアウトプットする
15	定期試験返却・解説	間違えた問題をおさらいし、国家試験に生かすことができる

〔特記事項・授業時間外における学習〕

〔成績評価の方法と基準〕

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
中間試験40点、期末試験60点、(筆記試験)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

青浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	美容師科	学年	1	開講区分	後期	担当教員	西島 明菜		
授業科目名									
美容技術理論		必修選択	必修	授業形態	講義	時間数	30	授業回数	15

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

美容師実務経験15年以上、美容技術理論・衛生管理・香粧品化学・運営管理の教員資格を持ち、現在もサロンで若手教育に携わっている講師が担当します。
美容の基礎知識であるため、内容を理解できるよう、パワーポイントやプリントなどを用いて授業を進めていき、演習問題を解きながら授業を展開します。

〔到達目標〕

実際にサロンでも活かせるよう、実技の工程・用語・実際に起きた事故を踏まえながら、施術の注意事項を理解する。
国家試験に向けて、4択問題が解けるようになり、誤文訂正ができるようになる。

〔使用教材、参考文献等〕	〔準備学習・時間外学習〕
美容技術理論1の教科書・プリント（授業に応じて配布）	

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1	エステティック	皮膚の生理と構造の名称を覚え、空欄問題が解けるようにする。 カウンセリング・マッサージの要点を理解し、4択問題、誤文訂正ができるようにする。
2	エステティック	フェイシャルケア・ボディーケア手技を覚え4択問題、誤文訂正ができるようにする。
3	ネイル技術	ネイル技術の種類・ネイルケア・アーティフィシャルネイルの内容を理解し、 4択問題、誤文訂正ができるようにする。
4	ネイル技術	爪の構造と機能・爪のカットの形状の名称を覚える 4択問題、誤文訂正ができるようにする。
5	ネイル技術・演習問題	演習問題で用語・名称を中心に確認し、説明ができるようにする。
6	メイクアップ	メイクアップの色彩・メイクの手順、道具の名称を覚える
7	メイクアップ	皮膚の構造・まつ毛エクステンションについて要点を理解し、4択問題、誤文訂正ができるようにする。
8	中間試験	1～7回（エステティック～メイクアップ）の内容で出題 解けなかった問題も復習し、誤文訂正ができるようにする。
9	日本髪	日本髪の各部の名称・種類について覚え、空欄問題が解けるようにする。
10	日本髪	日本髪の調和・バランス、装飾品を覚える。 4択問題、誤文訂正ができるようにする。
11	着付けの理論と技術	女子の礼装・男子の礼装、種類を覚え、言えるようにする。
12	着付けの理論と技術	生地・仕立て、名称・帯の種類、和装小物、婚礼衣装を覚える
13	ウエディング	ドレス・ベールの種類、特徴を覚える
14	定期試験	後期の内容から出題
15	定期試験返却・解説・美容技術理論1まとめ	間違ったところをチェック、誤文訂正をし、覚えなおす。

〔特記事項・授業時間外における学習〕	〔成績評価の方法と基準〕
	●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 中間試験50点、期末試験50点、筆記試験にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	美容師科	学年	1	開講区分	後期	担当教員	神谷/高橋(圭)/阿部/高橋(雅)/飯野/金谷/張/佐々木/西島
授業科目名 美容実習		必修選択	必修	授業形態	実習	時間数	300

〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)

現役美容師またわ実務経験3年以上の講師が「ブロー・スタイリング」「サロンワーク」「カット・カラー」「ワインディング」「オール・ウェーブ・セッティング」の基礎技術・知識から応用まで実践を交えて習得できる授業を行う。

〔到達目標〕

美容業のアシスタントとして必要な基礎技術・知識・態度を身に付けることができる。また接客業の基本である挨拶清掃を学ぶ。
また、国家試験課題の基礎技術を習得し、国家試験合格への基盤を作る。

〔使用教材、参考文献等〕	〔準備学習・時間外学習〕

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1.2.3.4.5	ブロースタイリング	流行りのコテ巻き技術を学び実践できるようになる
6.7.8.9.10	ブロースタイリング	メンズスタイリング(ドライ、アイロンワーク)を学び実践できるようになる
11.12.13.14.15	ブロースタイリング	お客様(相モデル)のなりたいイメージを再現できるようになる
16.17.18.19.20	サロンワークシャンプー&トリートメントマッサージ&ヘアセット	基本技術の精度を高め、シャンプーから仕上げまでの一連の施術を行うことができる。
21.22.23.24.25	サロンワークシュミレーション	チームで連携し、お客様への気配りや状況判断を行いながら、より実践的なサロンワークができる。
26.27.28.29.30	サロンワーク実習～お客様の希望に合わせたヘアセット～	学んだ接客・カウンセリング・技術を総合的に活かし、お客様の希望を汲み取り、時間や仕上がりを意識しながら、ご希望に合わせたヘアセットまでを完成させることができる。
31.32.33.34.35	メンズカットカラー	作品創作 デザインの創造性創作制作課題の実習習得
36.37.38.39.40	レディースカットカラー	作品創作 デザインの創造性創作制作課題の実習習得
41.42.43.44.45	カットカラー自由課題作品制作	イメージしたデザインを形にすることができる
46.47.48.49.50	ワインディング	全頭33分で巻けるようになる
51.52.53.54.55	ワインディング	ノーブロックで全頭33分で巻けるようになる
56.57.58.59.60	ワインディング	ノーブロックで全頭30分で巻けるようになる
61.62.63.64.65	オールウェーブ	1～3段目の構成を理解し、各段のつながりを意識しながら3段目まで作成できる。
66.67.68.69.70	オールウェーブ	1～3段目とのつながりを意識しながら、 4・5段目のウェーブを適切な位置・形状で作成できる。
71.72.73.74.75	オールウェーブ	7段構成のフルウェーブを一連の工程で作成し、時間を意識しながら 正確に仕上げることができる。

〔特記事項・授業時間外における学習〕	〔成績評価の方法と基準〕
	●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 中間試験40点、期末試験60点、演習にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	美容師科	学年	1	開講区分	後期	担当教員			
授業科目名						沖 将孝			
講読演習		必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	30	授業回数	15

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

美容実務9年の教員が、自己分析、グループワーク、職業研究などを通して職業観を養う。
グループワークを通し、自己受容、他者信頼、他者理解力を養い、職業人に必要なコミュニケーション力、プレゼンテーション力を見に付け、
美容業界で働くための職業観と社会人基礎力を育てる授業を行う。

〔到達目標〕

自己理解・他者理解を深め、自分の強みや価値観を言語化するとともに、美容業界への理解を深め、自らの将来像や職業観を形成することができる。また、他者との関わりを通して、職業人に必要なコミュニケーションカ・プレゼンテーションカを身につけ、社会人として主体的に行動することができる。

〔使用教材、参考文献等〕	〔準備学習・時間外学習〕

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1	グループワーク	他クラスとの関わりを通じて、クラス外での人間関係を築くことができる
2	他者理解ワーク	他者への質問を通して、相手の考え方や価値観を理解することができる
3	自己理解ワーク/白衣	他者から得た言葉や意見をもとに、自分の強みや特徴を言語化することができる
4	自己PR書き方について/自己PR作成	自分の強みや経験を整理し、相手に伝わる自己PRを作成することができる
5	自己PR完成	自分の強みや経験を整理し、相手に伝わる自己PRを作成できる
6	志望動機とは/企業分析	志望動機の意味を理解し、企業の特徴や求める人物像を調べ、自分との接点を考えることができる
7	履歴書清書	自分の経験や強みを整理し、必要な情報を適切にまとめて履歴書を作成することができる。
8	グループワーク/価値観の違いを容認	他者との価値観の違いを理解し、相手の考えを尊重して関わることができる。
9	全身写真撮り方/撮影	就職活動に適した身だしなみや姿勢を理解し、自分の印象を意識して写真撮影に臨むことができる。
10	模擬面接練習(セイファート)	面接時の基本的なマナーや受け答えを理解し、実践することができる。
11	模擬面接練習(セイファート)	質問の意図を理解し、自分の経験や考えを自分の言葉で伝えることができる。
12	模擬面接練習(セイファート)	これまでに身につけた面接マナーや自己PRを活用し、実践的な面接に対応することができる。
13	模擬面接本番(セイファート)定期テスト 12/17(木)に実施	これまでに身につけた面接マナーや自己PR・志望動機を活用し、実践的な面接に対応することができる。
14	就職ロードマップ作製	卒業後の目標を明確にし、就職に向けた具体的な行動計画を立てることができる。
15	1年間の学びを振り返り、自分の成長を実感する	1年間の学びや他者との関わりを振り返り、自分の成長や強みを実感するとともに、今後の成長に向けた課題を見つけることができる

〔特記事項・授業時間外における学習〕	〔成績評価の方法と基準〕
	●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 期末試験100点、演習にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	美容師科	学年	1	開講区分	後期	担当教員	神谷明日香／沖将孝
授業科目名 美容総合技術		必修選択	必修	授業形態	実習	時間数	60

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

美容実務3年以上の経験を有する教員が、実務経験を活かし、カット・パーマ・スタイリング・アイラッシュ技術・ブライダルの実践的な技術と、現場で求められるデザインや考え方を指導する

〔到達目標〕

実践的なカット・パーマ・スタイリング・アイラッシュ技術・ブライダルの基本技術を習得し、トレンドを取り入れたデザインを再現できる。技術の応用力と実践力を身につける。

〔使用教材、参考文献等〕	〔準備学習・時間外学習〕

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1	ミディアムスタイルカット/スタイリング	ミディアムスタイルの基本的なカット技術を理解し、ウィッグで再現できる。
2	ショートスタイルカット/スタイリング	ショートスタイルの基本的なカット技術を理解し、デザインに合わせてカットできる。
3	メンズカット	メンズスタイルの基本的なカット技術を理解し、ウィッグで再現できる。
4	メンズカット・パーマ	メンズパーマのデザインに合わせて、適切なロッド選定とワインディングができる。
5	メンズパーマ・スタイリング	パーマ施術の基本的な工程を理解し、仕上がりに合わせたスタイリングができる。
6	まつげエクステンション序章、衛生、基礎技術	まつげエクステンション技術において衛生の重要性を知る
7	まつげエクステンション基礎技術	まつげエクステンションを10本つけられるようになる
8	まつげエクステンション基礎技術	まつげエクステンションを20本つけられるようになる
9	まつげエクステンション応用技術	まつげエクステンションを30本衛生面に配慮しながらつけられるようになる
10	ヘアアレンジ	流行のヘアアレンジを実践し、応用技術を学ぶ
11	授業概要／ブライダル業種／結婚とは／日本の結婚式の歴史／ブライダル業界の特徴	結婚とは何かを理解し、ブライダルヘアメイクへの仕事に結び付けるイメージを持つことができる
12	新婦の洋装：ドレスラインの名称と素材の特徴／ドレスフィッティングの流れ	ドレスラインの説明ができ、ドレスを正しい流れでフィッティングすることができる
13	新婦洋装：小物（ベール・グローブ・ヘッドドレス・アクセサリー・パニエ・シューズ）について／ブーケ&ブートニアの名称	新婦洋装の小物類とブーケの名称と特徴の説明ができる
14	新婦和装：和装の名称と特徴／小物（筥迫・懐剣・末広・抱え帯）の名称と特徴	新婦和装とその小物類の名称と特徴の説明ができる
15	新郎の衣装（洋装と和装）／新郎洋装小物の名称／新郎和装小物の名称／紋について	新郎の洋装と和装の名称とその特徴の説明ができる

〔特記事項・授業時間外における学習〕	〔成績評価の方法と基準〕
評価方法	●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 課題提出を持って評価する。(U評価)課題の提出を持って出席とする

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	美容師科	学年	1	開講区分	後期	担当教員	沖 将孝		
授業科目名 国際教育		必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	30	授業回数	集中

〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)

美容実務9年の教員が、自己分析、グループワーク、職業研究などを通して職業観を養う。
グループワークを通し、自己受容、他者信頼、他者理解力を養い、職業人に必要なコミュニケーション力、プレゼンテーション力を見に付け、
美容業界で働くための職業観と社会人基礎力を育てる授業を行う。

〔到達目標〕

自己理解・他者理解を深め、自分の強みや価値観を言語化するとともに、美容業界への理解を深め、自らの将来像や職業観を形成することができる。また、他者との関わりを通して、職業人に必要なコミュニケーション力・プレゼンテーション力を身につけ、社会人として主体的に行動することができる。

〔使用教材、参考文献等〕	〔準備学習・時間外学習〕

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1 2 3 4 5	日本と海外のヘアメイクの違いについて事前学習を行い、 グループで発表をすることで理解を深める	日本と海外のヘアメイクの特徴や違いを理解し、比較して説明できる。 海外のヘアメイクトレンドや技術について調べ、他者にわかりやすく発表できる。
6 7 8 9 10	海外研修先のロサンゼルス、韓国、パリ現地の技術を共有し、 知見を広げる。 日本と海外のお客様の需要や、ヘアのコンディション、 毛質やヘアスタイルの目的を理解する。	海外(ロサンゼルス・韓国・パリ)の美容技術やトレンドを理解し、自身の知識や視野を広げることができる。 日本以外のお客様のニーズや毛髪・ヘアスタイルに対する考え方の違いを理解し、適切な提案につなげることができる。
11 12 13 14 15	ロンドンで活躍するヘアアーティストから海外で行われているブロー、 スタイリングを学び、日本との違いを間近で見ることにより スタイリングの幅を広げる。 国ごとの考えの違いや、求められるスキルの違いを理解する。	海外で活躍するヘアアーティストの技術やブロースタイリングを理解し、スタイリング技術の幅を広げることができる。 国や文化による美容観や求められる美容師像の違いを理解し、多様な価値観に対応できる。

〔特記事項・授業時間外における学習〕	〔成績評価の方法と基準〕
	●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 課題提出を持って評価する。(U評価)課題の提出を持って出席とする。